

Title	平成9年度事業報告
Author(s)	
Citation	癌と人. 1999, 26, p. 25-26
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/23877
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

平成9年度事業報告

(財)大阪癌研究会

1. 一般学術研究助成について

本年度も癌に関する学術研究を奨励助成するため公募したところ全国から39名の応募者があった。

一般学術研究助成選考委員会（委員長 濱岡利之 大阪大学医学部教授他4委員で構成）で慎重に検討され、理事会で決定された助成対象者は下記のとおり12名であった。

2. 癌シンポジウム・講演会助成について

癌の予防、診断及び治療に関する研究の連絡、提携の促進を図り癌の医療の進歩普及に貢献するために、助成申請のあったものを理事会で慎重に協議、審査の結果下記の4件に助成した。

2. がんの知識普及活動について

「癌と人」の会誌24号を刊行し配布した。また、癌の知識の普及活動にあらゆる面から鋭意努力した。

平成9年度「一般学術研究助成金」助成対象者

氏名	所属機関	研究テーマ
寺田 忠史	鳥取大学医学部 病理学第二講座	肝細胞癌と胆管細胞癌におけるMatrixMetalloproteinasesの発見とその意義
京 哲	金沢大学医学部 附属病院産婦人科	テロメラーゼ活性制御による癌の遺伝子治療の基礎研究
浦野 健	名古屋大学医学部 生化学第二講座	がん転移抑制におけるnm23の分子機能解析： nm23はプロテインヒスチジンキナーゼか？
廣田 誠一	大阪大学 医学部病理部	ヒト消化管間葉細胞腫の悪性度とC-kit機能獲得性突然変異の関係
清井 仁	名古屋大学医学部 附属病院難治感染症部	ヒト白血病における受容体型チロシンキナーゼFLT ₃ 遺伝子変異がおよぼす細胞増殖シグナル伝達機構の解明
武田 俊一	京都大学大学院 医学研究科分子免疫学・アレルギー学講座	相同DNA組換えにかかわるRad51遺伝子のコンディショナルノックアウト細胞を使ったRad51タンパクの機能解析

氏 名	所 属 機 関	研 究 テ ー マ
郡 健 二 郎	名古屋市立大学 医学部泌尿器科学教室	前立腺癌のホルモン耐性機構における転写因子NF κ Bの関与短縮タイトル：ホルモン耐性前立腺癌とNF κ B
石 黒 精	帝京大学医学部 附属溝口病院小児科	癌細胞偽足形成における細胞間接着分子E-cadherinの果たす役割について
大 谷 清	東京医科歯科大学疾患 遺伝子実験センター	成人T細胞白血病発症機序に関する研究
井 上 寛 一	大 阪 大 学 微生物病研究所 腫瘍ウイルス分野	drs遺伝子の機能と癌化抑制
浦 島 充 佳	東京慈恵会医科大学 小 児 科 学 講 座	SCIDmouseを用いた横紋筋肉腫に対するp ^{16INK4A} 癌抑制遺伝子治療に関する研究
益 谷 央 豪	大阪大学細胞生体 工学センター細胞構造 研 究 分 野	無細胞DNA除去修復系を用いた色素性乾皮蛋白質の解析

平成9年度「癌シンポジウム・講演会助成費」助成対象会議

シンポジウム・講演会名	申 請 者	助成金額	備 考
第5回日仏癌会議	田口鐵男・Armand	千円 15,960	
第1回日米BRM会議	田口鐵男・Parkinson	8,455	
進行腎細胞癌の免疫療法研究会	古武俊彦・田口鐵男	4,750	
第4回アジア臨床腫瘍学会	田口鐵男・Daldyono	19,380	
合 計		48,545	